



編集・発行 蔵持市民センター Tel/fax 0595-63-0235 HP <https://www.emachi-nabari.jp/kuramochi>

蔵持市民センター事務所開所時間

平日 9:00～16:00 ※左記時間外の対応の方は予めご連絡ください。

今日の蔵持の何気ない風景



5月20日 猫のはまくとまつくん

はまは、控えめで神経質タイプ
まつは、かまってちゃんの
イケイケの活発タイプ
性格は正反対。違うからおもしろい。
違っていいって教えてくれる。



地域

雨の日につながった命 ～保護猫「はま」と「まつ」🐱🐱～

井上美樹さん（原出）

前々月号に掲載した、出前講座をきっかけに保護猫を家族に迎えた長田さんの保護猫の記事を読んだ井上美樹さん（原出在住）が、「うちも保護猫を飼っていますよ。」と長田さんに声をかけてくださいました。

井上さん一家と暮らしているのは、『はま』と『まつ』という2匹の猫です。

井上さんは12年前にも、雨に打たれていた子猫を保護しました。その猫は『レイン』と名付けられ、子どもたちとともに12年間、家族の一員として過ごしました。5年前にレインを見送ってからは、「また別れがつかなくなる。」「“かわいい”だけでは命は迎えられない。」と、新しい猫を迎えることができずにいたそうです。

転機は一昨年10月。当時、浜松で働いていた娘の園菜（えな）さんが、自転車での通勤途中に、冷たい雨の中で鳴く生後間もない2匹の子猫を発見し、保護しました。連絡を受けた井上さんは浜松へ向かい、子猫たちを引き取りました。その2匹の姿が12年前に出会ったレインと重なり、「運命を感じた。」と話します。

浜松で出会ったことから、2匹は『はま』と『まつ』と名付けられ、旦那さんが哺乳瓶でミルクをあげ、美樹さんが排泄のお世話をするなど、夫婦で協力しながら育ててきました。今では生後1歳7か月になった『はま』と『まつ』。同じ猫でも、性格はまるで正反対です。片方は物をくわえて持ってくるけれど、もう片方はしない。「そんな違いを見ていると、“こうあるべき”というこだわりがなくなります。」と井上さんは、優しく笑いながら話してくださいました。

また、「レインの時は大変だったお世話も、今では笑って話せる余裕に変わりました。はまとまつには、癒されるだけでなく気持ちもあげてもらっていて、毎日たくさんの幸せをもらっています。」と笑顔で話してくださいました。

今回は蔵持市民センターだよりをきっかけに、長田さんと井上さんがつながりました。猫を飼うのが初めての長田さんは、井上さんに猫との暮らしについて相談。保護猫をきっかけにつながったお二人。猫との暮らしを語り合う表情は、自然と笑顔になっていました。



幼い頃のはま(茶トラ)とまつ(ハチワレ)



井上さん宅で安心して暮らすはまとまつ



猫の子育て話で笑顔の井上さんと長田さん